

CHILD SEAT

Patent Number: JP2002036923

Publication date: 2002-02-06

Inventor(s): KOYAMA KENICHI;; NISHIYAMA YUICHI

Applicant(s): TOYOTA AUTO BODY CO LTD

Requested Patent: JP2002036923

Application Number: JP20000226837 20000727

Priority Number(s):

IPC Classification: B60N2/28; A47D13/02; B60N2/32; B60R22/10; B62B7/12; B62B9/10

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a child seat also usable as a baby carriage for ensuring comfortableness in use when mounting on a car seat or taking out from a car to use it as a baby carriage.

SOLUTION: In the child seat 1 to detachably be mounted on seating surface of a car seat 7, a seat bottom 11 is provided with freely-storable wheels 2a, 2b, 3a and 3b and for carrying the child seat 1 out of a car to utilize it as a baby carriage, a cover member 4 of a container body converting the seat bottom 11 with each wheel 2a, 2b, 3a and 3b stowed is set along the seat bottom 11 so as to freely slide before and behind. By pulling out this cover member 4 backward and erecting the wheels 2a, 2b, 3a and 3b to form a baby carriage body, while composing a pocket of the baby car with the pulled-back cover member 4.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-36923

(P2002-36923A)

(43)公開日 平成14年2月6日(2002.2.6)

(51)Int.Cl.
B 60 N 2/28
A 47 D 13/02
B 60 N 2/32
B 60 R 22/10
B 62 B 7/12

識別記号

F I
B 60 N 2/28
A 47 D 13/02
B 60 N 2/32
B 60 R 22/10
B 62 B 7/12

テマコト*(参考)
3 B 0 8 7
3 D 0 5 1

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全 6 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2000-226837(P2000-226837)

(22)出願日 平成12年7月27日(2000.7.27)

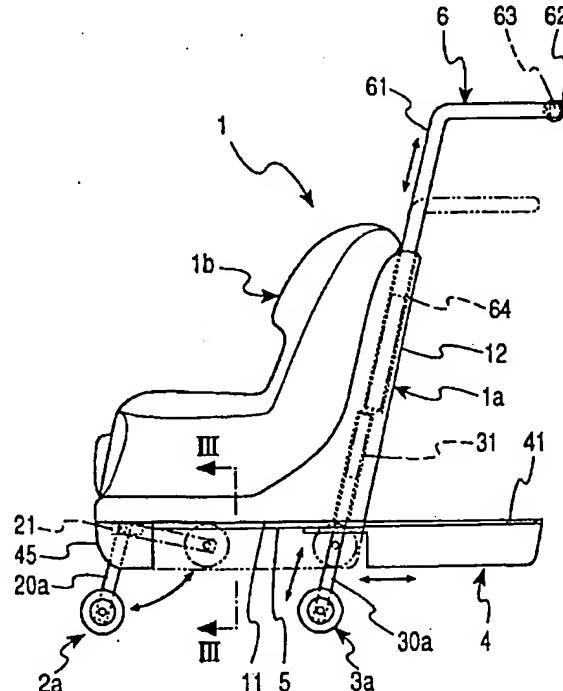
(71)出願人 000110321
トヨタ車体株式会社
愛知県刈谷市一里山町金山100番地
(72)発明者 小山 勝一
愛知県刈谷市一里山町金山100番地 トヨ
タ車体株式会社内
(72)発明者 西山 優一
愛知県刈谷市一里山町金山100番地 トヨ
タ車体株式会社内
(74)代理人 100067596
弁理士 伊藤 求馬
Fターム(参考) 3B087 CE07 CE08 CE10
3D051 AA02 AA11 AA23 CA04 CA17
CB02 CG04 CG05 CJ03 DD18

(54)【発明の名称】 チャイルドシート

(57)【要約】

【課題】 車両シートへ載置する際やベビーカーとして車外へ持ち出す際、および、ベビーカーとしたときに使い勝手のよいベビーカー兼用のチャイルドシートを実現すること。

【解決手段】 車両シート7の着座面に着脱可能に載置するチャイルドシート1であって、シート底面11に格納自在な車輪2a, 2b, 3a, 3bを備え、車外へ持ち出してベビーカーとして利用するチャイルドシート1において、各車輪2a, 2b, 3a, 3bを格納した状態でシート底面11を覆う容器体のカバー部材4を、シート底面11に沿って前後方向にスライド移動可能に設け、カバー部材4を後方へ引き出すとともに、上記車輪2a, 2b, 3a, 3bを起立姿勢としてベビーカーとなし、かつ、後方へ引き出した上記カバー部材4でベビーカーの小物入れを構成した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 車両シートの着座面に着脱可能に載置するチャイルドシートであって、シート底面に格納自在な車輪を備え、チャイルドシートを車外へ持ち出してベビーカーとして利用するチャイルドシートにおいて、上記シート底面に、これに沿って前後方向にスライド移動可能で、上記車輪を格納した状態でシート底面を覆う容器体のカバー部材を設け、上記カバー部材を後方へ引き出すとともに、上記車輪を起立姿勢としてベビーカーとなし、かつ、後方へ引き出した上記カバー部材でベビーカーの小物入れを構成したことを特徴とするチャイルドシート。

【請求項2】 上記カバー部材には、左右の側壁の上縁にそれぞれ前後方向にスライド部を設け、両スライド部をチャイルドシートのシート底面の左右の側縁に沿って前後方向に設けたレール部材にスライド移動自在に支持せしめ、上記カバー部材を、上記シート底面を覆う前方位置とシート底面より後方へ突出する後方位置との間で移動可能とした請求項1に記載のチャイルドシート。

【請求項3】 上記車輪はこれを支持脚の先端に設け、かつ、上記シート底面の前後位置にそれぞれ複数配設し、前側の車輪はその支持脚をシート底面に起倒回動自在に支持せしめ、後側の車輪はその支持脚をシート底面に上下方向移動自在に支持せしめた請求項1または請求項2に記載のチャイルドシート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は車両シートに載置するチャイルドシート、特に、車外へ持ち出してベビーカーとして利用するチャイルドシートに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、乳幼児を自動車に乗車させる場合、車両シートにチャイルドシートを載置してこれに着座させている。チャイルドシートには車外へ持ち出してベビーカーとして利用できるようにしたベビーカー兼用のものが考案されており、例えば、実開昭62-38638号に開示されたように、チャイルドシートのシート底面に格納自在な複数の車輪を設けている。この種のチャイルドシートは車外へ持ち出して各車輪を起立姿勢の使用位置にセットすることでベビーカーとしている。そして、車両シートに載置する際には、各車輪をチャイルドシートのシート底面に沿うように倒伏状に格納せしめ、格納した車輪と一体にシート底面を受ける台皿を介して車両シート上に載置して、車輪に付着した泥等で車両シートを汚さないようにしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記チャイルドシートは、車両シートへ載置するとき、あるいは車外へ持ち出してベビーカーとするときに、いちいち台皿を着脱しなければならず使い勝手がよくない。ま

た、一般にベビーカーにはおむつや衣類などを入れておく小物入れが必要とされているが、チャイルドシートではベビーカーとしたときに小物入れがないのでベビーカーとしての使い勝手もよくない。そこで本発明は、車両シートへ載置する際やベビーカーとして車外へ持ち出す際に上記台皿のような別部材の脱着を必要とせず、かつ、ベビーカーとしたときに小物入れを備えた使い勝手のよいベビーカー兼用のチャイルドシートを提供することを課題としてなされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は、車両シートの着座面に着脱可能に載置するチャイルドシートであって、シート底面に格納自在な車輪を備え、チャイルドシートを車外へ持ち出してベビーカーとして利用するチャイルドシートにおいて、上記シート底面に、これに沿って前後方向にスライド移動可能で、上記車輪を格納した状態でシート底面を覆う容器体のカバー部材を設け、上記カバー部材を後方へ引き出すとともに、上記車輪を起立姿勢としてベビーカーとなし、かつ、後方へ引き出した上記カバー部材でベビーカーの小物入れを構成する（請求項1）。

【0005】 上記カバー部材には、左右の側壁の上縁にそれぞれ前後方向にスライド部を設け、両スライド部をチャイルドシートのシート底面の左右の側縁に沿って前後方向に設けたレール部材にスライド移動自在に支持せしめ、上記カバー部材を上記シート底面を覆う前方位置とシート底面より後方へ突出する後方位置との間で移動可能とする（請求項2）。

【0006】 請求項1および請求項2の発明によれば、車両シートへ載置する際やベビーカーとして車外へ持ち出す際にはカバー部材を後方または前方へスライド移動させればよく使い勝手がよい。また、ベビーカーとしたときに後方へ引き出したカバー部材が小物入れとなるので、ベビーカーとしての使い勝手もよい。

【0007】 上記車輪はこれを支持脚の先端に設け、かつ、上記シート底面の前後位置にそれぞれ複数配設し、前側の車輪はその支持脚をシート底面に起倒回動自在に支持せしめ、後側の車輪はその支持脚をシート底面に上下方向移動自在に支持せしめる（請求項3）。これによれば、車輪の格納時に前輪と後輪とが重なり合うことがなくなり、車輪をシート底面に効率よく格納することができる。

【0008】

【発明の実施の形態】 図に基づいて本発明の実施の形態を説明する。図1および図2に示すように、チャイルドシート1は、シート底面11とシート背面12とを構成する硬質合成樹脂板からなるバケット型のシートフレーム1aに、シートクッション用およびシートバック用のパッド材1bを装着してある。チャイルドシート1の着座面には着座させた乳幼児の身体を拘束する拘束ベルト

13が装備してある。

【0009】チャイルドシート1のシート底面11はほぼ平坦な方形状をなし、前側の左右両角付近には左右一対の前輪2a, 2bが、後側の両角付近には左右一対の後輪3a, 3bが設けてある。

【0010】左右の前輪2a, 2bはそれぞれパイプ材からなる支持脚20a, 20bの脚端に軸支しており、それぞれの支持脚20a, 20bの根元部をシート底面11の前側の左右の角付近にヒンジ部材21を介して前後方向に起倒回動自在に連結してある。これにより各前輪2a, 2bは、シート底面11に沿うように後方へ倒した格納位置と、格納位置から前下方へ回動して起立せしめた使用位置とに変位可能である。両前輪2a, 2bは、両支持脚20a, 20bの脚端間に架設した連結バー22により連結してあり、両者2a, 2b一体に上記格納位置および上記使用位置に回動する。尚、前輪2a, 2bはヒンジ部材21に設けた図略のロック機構により格納位置または使用位置にそれぞれロックされる。

【0011】左右の後輪3a, 3bはそれぞれ、パイプ材からなる支持脚30a, 30bの脚端に軸支しており、各支持脚30a, 30bをシート底面11の後側の左右の角付近に上下動可能に支持せしめてある。シート底面11の後側の両角付近には、シート底面11を貫通し、シート背面12に沿うようにシートフレーム1aの内側に上方へ延びる筒状のガイド部材31が配設してある。各後輪3a, 3bは、それぞれの支持脚30a, 30bをガイド部材31に挿入して、シート底面11に当接する格納位置と、下方へ起立状に突出せしめた使用位置とに変位可能としてある。両後輪3a, 3bは連結バー32により連結してあり、両者3a, 3b一体に上記格納位置および上記使用位置に変位する。尚、後輪3a, 3bはガイド部材31の下端に設けた図略のロック機構により格納位置または使用位置にそれぞれロックされる。

【0012】また、シート底面11には、前輪2a, 2bおよび後輪3a, 3bを格納位置としたときに、前後輪2a, 2b, 3a, 3bと一緒にシート底面11を覆うカバー部材4が前後方向にスライド移動自在に設けてある。カバー部材4は、硬質合成樹脂からなる容器体で、その深さは前後輪2a, 2b, 3a, 3bの直径とほぼ同一寸法である。また、カバー部材4の前後長はシート底面11の前後長よりも若干短くしてあり、カバー部材4の前部は開口している。図3に示すように、カバー部材4の左右の側壁の上縁には前後方向に延びる断面ほぼT字形のスライド部41が一体成形してある。スライド部41はその前端がカバー部材4の左右の側壁前端よりも前方へ延出し、スライド部41の前後長はシート底面11の前後長と同一寸法である。

【0013】シート底面11には、前後輪2a, 2b, 3a, 3bの外側位置で左右の側縁に沿って前後方向に

延びる左右一対のスライドレール5が取付けである。図3に示すように、各スライドレール5は、カバー部材4のスライド部41に対応して下方へ開口する断面ほぼC字形で、シート底面11の側縁全長にわたって設置している。

【0014】カバー部材4は、左右のスライド部41を各スライドレール5に摺動自在に嵌入して、図2に示すように、前後輪2a, 2b, 3a, 3bを格納したときにシート底面11を覆う前方位置と、シート底面11より後方へ引き出して、後輪3a, 3bが使用位置へと下降可能な後方位置とにスライド移動可能に支持せしめてある。尚、カバー部材4を上記後方位置に移動しても、前方へ延出したスライド部41の前端がスライドレール5内に残ってカバー部材4はチャイルドシート1の後方へほぼ水平に突出した状態に保持される。

【0015】また、シート底面11の前縁には下方へ突出する縦壁状のカバー壁45が取付けあり、カバー壁45はカバー部材4を上記前方位置としたときにカバー部材4の前部開口を遮蔽して見栄えをよくする。

【0016】図1および図2に示すように、シートフレーム1aの上方には上下動自在のハンドル6が設けてある。ハンドル6はパイプ材を曲成した一体成形体で、下方へ延出する左右一対の脚部61と、両脚部61の後方へ屈曲した上端間をU字形に繋ぐグリップ62とを備えている。グリップ62は合成樹脂層を被覆してあり、かつ、グリップ62の左右両端には、図4に示すように、車両シート7のヘッドレスト70の左右一対の脚部701に対応してこれ等を挿通可能な貫通穴63が形成している。

【0017】ハンドル6は、シートフレーム1aの上部の左右両側に、上方へ開口してシート背面12に沿うようにシートフレーム1aの内側に下方へ延設した筒状のガイド部材64に、左右の脚部61を上下方向に移動自在に挿入して、上方へ引き出した使用位置と、下方へ押し込んだ格納位置とに変位可能としてある。また、ハンドル6はロック機構(図略)により上記使用位置と上記格納位置とにロックされる。

【0018】このように構成したチャイルドシート1は、車外において、カバー部材4をシート底面11より後方へ引き出してシート底面11を開く。そして、上記格納位置の前輪2a, 2bを前下方へ回動して起立姿勢の使用位置とするとともに、後輪3a, 3bを格納位置から下方へ引き出して使用位置とし、かつ、ハンドル6を上方の使用位置へ引き出してベビーカーとする。このとき、後方へ引き出したカバー部材4がシート底面11の後方位置でほぼ水平に保持され、上部が開口する小物入れを構成する。

【0019】チャイルドシート1を車両シート7に載置するには、図2に示すように、前後輪2a, 2b, 3a, 3bを使用位置からシート底面11に沿う格納位置

に格納し、カバー部材4を前方位置へ前後輪2a, 2b, 3a, 3bを覆うようにスライド移動してシート底面11を閉じ、かつ、ハンドル6を格納位置へ押し込んでおく。一方、車両シート7はそのヘッドレスト70をはずしておく。そして、図4に示すように、チャイルドシート1は、カバー部材4の底面を車両シート7のシートクッション71の上面に重ねるとともにシートフレーム1aのシート背面12を車両シート7のシートバック72の前面に沿わせて車両シート7の着座面に載置して、車両シート7のシートベルト(図略)等で拘束する。

【0020】このとき、ハンドル6のグリップ62を車両シート7のシートバック72の上端面に対向せしめ、ヘッドレスト70の脚部701をグリップ62の貫通穴63を介してシートバック72上端面の取付け穴に挿入係止して、シートバック72上部にヘッドレスト70を取り付ける。これにより、チャイルドシート1は車両シート7により強固に載置することができる。

【0021】本発明のチャイルドシート1は、これに、格納した車輪2a, 2b, 3a, 3bを覆うカバー部材4を前後スライド式として組付けて一体化したので、従来のように別部材の台皿等を脱着する必要がないから、ベビーカーとしての使用状態へ変更する際、および、ベビーカーから元へ戻して車両シートに載置する際の使い勝手を向上できる。また、ベビーカーとしたときには後方へ引き出したカバー部材4からなる小物入れにおむつや衣類等を入れておけるので便利である。

【0022】また、チャイルドシート1は、これに、前輪2a, 2bをシート底面11に沿って格納する起倒式とする一方、後輪3a, 3bはシート背面12内部を有効に利用した昇降式としたので、前輪2a, 2bの支持脚20a, 20bおよび後輪3a, 3bの支持脚30a, 30bを充分に長くしても、格納時に前輪2a, 2bと後輪3a, 3bとが干渉することなくシート底面11に効率よく格納することができる。

【0023】

【発明の効果】本発明によれば、車両シートへ載置する際やベビーカーとして車外へ持ち出す際に車輪を覆う部材の脱着を必要とせず、かつ、ベビーカーとしたときに小物入れを備えた使い勝手のよいベビーカー兼用のチャイルドシートを実現することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のチャイルドシートを示すもので、チャイルドシートを車外へ持ち出してベビーカーとした状態の斜視図である。

【図2】本発明のチャイルドシートの側面図である。

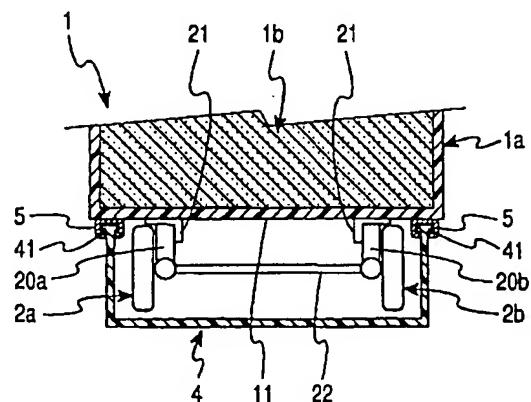
【図3】図2のIII-III線に沿う位置での断面図である。

【図4】本発明のチャイルドシートを車両シートに設置した状態の斜視図である。

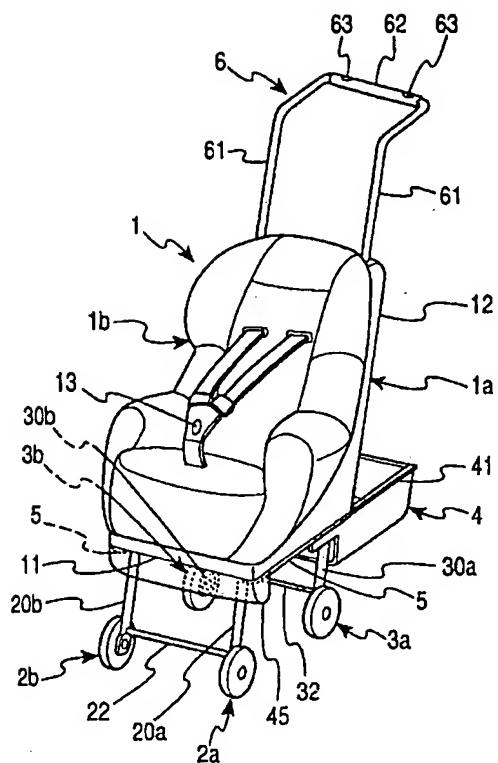
【符号の説明】

- 1 チャイルドシート
- 1a シートフレーム
- 1b パッド材
- 11 シート底面
- 12 シート背面
- 2a, 2b 前輪(車輪)
- 20a, 20b 支持脚
- 21 ハンジ部材
- 3a, 3b 後輪(車輪)
- 30a, 30b 支持脚
- 31 ガイド部材
- 4 カバー部材
- 41 スライド部
- 5 スライドレール(レール部材)
- 6 ハンドル
- 7 車両シート
- 70 ヘッドレスト

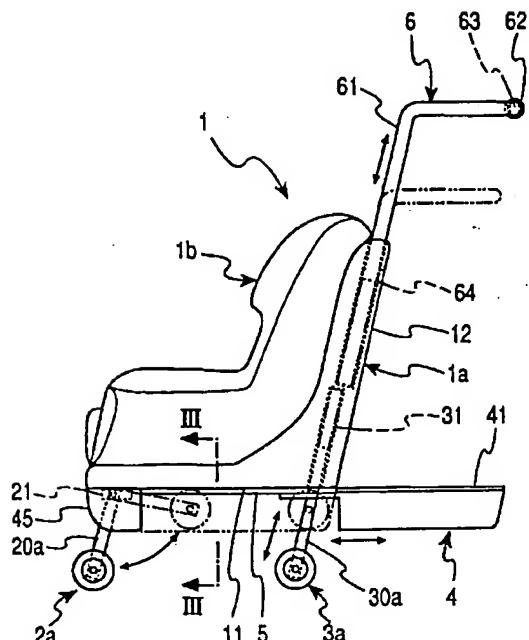
【図3】



【図1】



【図2】



【図4】

